

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		A	グループ	施策名									
参加者	行政	磯部 泰地、家田 直政、那須 大輔、相川 洋輝		重点政策	1	産業の活性化と雇用の確保							
	町民	山本 直径、鈴木 甚八、大岩 徳夫、松田 洋幸、松下 文弘											
施策情報													
町民目線からの見た現状と課題		・南知多町への観光客は県内、近隣からの観光客が多いが、県内は道路が便利になったことで日帰り客が多くなった。 ・世界的な物価高騰で観光客が減っている。宿泊代の値上げなどもいたしかたないことであるが、値上げするだけでなく何か＋のおもてなしなどが必要。 ・町内でも地区によって料理に力を入れた方がいいなど、地区のばらつきがある。観光協会の各支部などが連携して支援や情報共有できる体制作りも必要。 ・KPIでは新規就農者も増えているが、農業をやめる人などもいるため増えている実感はない。JAや役場、農業者との連携がうまく取れていないと感じる。											
予算（事業）名		観光振興事業		農業振興対策事業費		漁業振興対策事業費		その他					
主な予算事業（実施計画・事業評価）の良い点		町観光協会と協力して、観光推進を行っている。		南知多町は獣害が比較的少なく、気候的に恵まれており、農業を行いやすい土地である。		新規漁業就業者への補助を行っている。							
主な予算事業（実施計画・事業評価）の問題点		日帰りの観光客が多いため、近隣エリアだけでなく広範囲へのPR活動が必要。		新規就農者へのサポート体制として住む場所の確保や補助が重要だと考えられる。		暑さで漁獲量が落ちているため、その対策が必要である。							
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	5	点	（内訳）	予算事業	2	点	管理指標	2	点	地域との協働	1	点
	iii	順調			（摘要） 予算としてはある程度有効であると思うが、もう少し充実をしてほしい。		（摘要） 観光以外はできているため概ね順調。		（摘要） 観光協会との連携はある程度できているが、農業での連携強化を望む。				

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		B	グループ	施策名									
参加者	行政	滝本 義紀、吉原 裕人、内田 健二、 沢田 慶、堀之内 浩子		重点政策	1	産業の活性化と雇用の確保							
	町民	中村 敦史、宮本 邦彦、大岩 徹、 須賀 萌乃、坂野 豊和											
施策情報													
町民目線からの見た現状と課題		・ 地元の農産物、海産物を地元でもっと活用・消費できるとよい。 ・ ふるさと納税の仕組みや6次産業化を連携させるように考えるとよい。											
予算（事業）名		農業振興対策事業費		栽培漁業振興対策事業		師崎観光センター周辺整備運営事業費		その他					
主な予算事業（実施計画・事業評価）の良い点		農業器具購入の補助が付いたことにより、令和7年度費で増額。		継続的な稚魚放流で、去年は鯛などが好調であった。県からの補助分と町単独分で実施している。		予算規模、駐車台数等が適正かどうかの判断はなかなかしにくい が羽豆岬も近く、テナントも入り、地元の方も利用している。		・ ふるさと納税については、実績も積み、よく頑張っている。 ・ 地元の子どもたちに農漁業の体験機会を儲けられると良い。 ・ 道の駅など産業拠点の整備を期待。					
主な予算事業（実施計画・事業評価）の問題点		農業を振興したくとも、自然公園法などの規制がある。遊休農地を持つ農家と新規就農者のマッチングが推進されると良い。		南知多だけでなく、他市町も巻き込んでの実施を検討したかどうか。また、アサリがいなく今年の潮干狩りはできず。ハマグリ等代替の検討もしたい。		今後は管理業者と、消費額に応じた駐車料金値下げを検討するなど、課題に向けて協議をしている。							
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	4	点	(内訳)	予算事業	2	点	管理指標	1	点	地域との協働	1	点
	ii	改善の余地あり			(摘要) ふるさと納税の実績は良く頑張っている。農漁業者にとっては必要な予算。		(摘要) 町の基幹となる観光客数の減少は努力が必要。		(摘要) 相互に頑張れると良い。道の駅等も期待。				

第 7 次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		C	グループ	施策名									
参加者	行政	保母 公次、戸田 竹彦、片岡 克紀		重点政策	1	産業の活性化と雇用の確保							
	町民	太田 彰、中川 雅博、樋口 浩久、山本 学、滝本 孝治											
施策情報													
町民目線からの見た現状と課題		・ 地元の農産物、海産物を扱っている料理屋や旅館等を減少させないように、ふるさと納税の仕組みや6次産業化を連携させるように考えるとよい。 ・ 水産物の養殖の取組みを推進していく必要がある。											
予算（事業）名		農業用施設維持管理費		観光振興事業費		漁業振興対策事業費		その他					
主な予算事業（実施計画・事業評価）の良い点													
主な予算事業（実施計画・事業評価）の問題点		農業用施設の周りなど農業用道路の維持管理ができていない。		SNSでのPRが弱い。		雇用に関する補助を手厚くして欲しい。							
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	3	点	（内訳）	予算事業	1	点	管理指標	1	点	地域との協働	1	点
	ii	改善の余地あり			（摘要） 人口減対策のため農業や漁業の新規就業者を町外から来てもらう。 住む場所の提供など予算を多くつけると良いのではないかな。		（摘要） 観光客の指標で目標を大きく下回っている。 観光としての釣りをもっとアピールできないか。		（摘要） 良い補助制度があっても知らない場合が多い。 商工会などの関係機関と協働してアピールすることが重要。 SNSでの発信も効果的である。				

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報			D	グループ	施策名								
参加者	行政	土井 美香、上米良 勇太、齋藤 裕幸、鈴木 秀治、齋藤 佑治			重点政策	2	子育て支援と教育の充実						
	町民	熊本 弘範、・ 眞理子、竹内 康隆、岩尾 哲彌、中村 修見											
施策情報													
町民目線からの見た現状と課題	・ 地域の交流はたくさんあったら嬉しい ・ スポーツのクラブやイベントに参加しやすい環境・情報があるといい ・ 介護や障害等に対して現状向き合えていない、触れる機会がない ・ 町として、一人暮らしの不自由な方への訪問や援助をもっとやって欲しい ・ 高齢者一人暮らしの方は、歩いて行ける店がない。町として対策を。												
予算（事業）名	児童福祉一般管理費			賄材料費					その他				
主な予算事業（実施計画・事業評価）の良い点	・ おうちで子育て応援金を増額したり、おむつの無償化などは良い事業だと思う。			給食費の無償化は良い事業だと思う。					国保事業について、未就学児からも保険料を徴収することが子育て支援の低下になるのではないかな。				
主な予算事業（実施計画・事業評価）の問題点	保育所の日よけネットの設置など子育て支援に繋がる事業を実施してほしい。			定住支援に繋がるPRをしてほしい。									
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	3	点	(内訳)	予算事業	1	点	管理指標	1	点	地域との協働	1	点
	ii	改善の余地あり			(摘要) 子育て・教育の予算についてはある程度有効だが、PR不足。			(摘要) 順調な項目もあるが、PR不足。		(摘要) 住民の声を聴こうとする意識は感じられるが、PR不足。			

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報			E	グループ	施策名								
参加者	行政	石橋 暁登、磯部 貴宏、竹内 優俊			重点政策	2	子育て支援と教育の充実						
	町民	鈴木 理、伊藤 恵子、小久保 清美、吉田 正志											
施策情報													
町民目線からの見た現状と課題		・地域の交流はたくさんあったら嬉しい。 ・子供の時期にするスポーツが多い程、将来のスポーツのセンスは高くなるそうです。なので、スポーツのクラブやイベントに参加しやすい環境・情報があるといい気がします。 ・町として、一人暮らしの不自由な方への訪問や援助をもっとやって欲しい。											
予算（事業）名		予防接種事業費		福祉医療費					その他				
主な予算事業（実施計画・事業評価）の良い点		接種率は、定期予防接種が81.5%、インフルエンザは高齢者が49.3%、中3が41.3%、高3相当が22.1%であり、正しく運用できている。		18歳に達する年度末までの児童や児童を扶養しているひとり親などを対象に医療費の自己負担額を助成している。					広報に良いことが書いているものの、文字が多くとても分かりづらい。				
主な予算事業（実施計画・事業評価）の問題点		定期予防接種は、接種率が昨年度より低下している。		制度の周知（啓発活動）									
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	5	点	(内訳)	予算事業	2	点	管理指標	1	点	地域との協働	2	点
	iii	順調			(摘要) 事業の周知がもっと必要		(摘要) スマホでの申請などは高齢者が分かりづらい		(摘要) 評価書の項目がリンクしていない				

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		F	グループ	施策名									
参加者	行政	伊藤 友規美、相川 知久、古田 崇朗、山下 裕人、山下 英将、鈴木 誠		重点政策	3	定住支援							
	町民	森田 正、・原 英治、丹羽 勇斗、田中 友規、加藤 直美											
施策情報													
町民目線からの見た現状と課題		・河和駅に着くのは知らないけれど、内海駅に着くのは電車とのタイミングが合っていない時間帯があるから、そこは見直してほしい。 ・空き家対策の充実。空き家の不在管理者への迅速な対応。防火・防災の責任の明確化。											
予算（事業）名		公共交通対策事業費		空家等対策事業費		施設マネジメント事業費		その他					
主な予算事業（実施計画・事業評価）の良い点		路線再編により基準年R5の実績値24.8万人から26.5万人(R6)、28.6万人(R7)と路線再編後は利用者が増加している。		そのまま放置すれば危険となる空き家が減少することで、生活環境が保全され住民が安心して暮らすことができる。		公共施設の計画的な再編・再配置を推進し、健全な財政の維持、行政サービスの質の向上につながる。		・消防団や祭礼の負担が大きすぎる。その負担が住民の流出につながる。操法訓練を実のあるものにしてほしい。					
主な予算事業（実施計画・事業評価）の問題点		・交通手段がなく、高齢者には不安が大きい。 ・生活物資を近くで購入できない。オンデマンド交通をうまく活用できないか。公民館等の駐車場を移動販売車の駐車スペースとして活用できないか。		・定住支援のため、空家を活かす事業にもう少し予算投入すべきではないか。 ・空家バンクの登録件数が少ない。		・学校や保育所新築のための調査や計画作成の他、建物解体工事、不動産鑑定などを行ったが廃止した公共施設の利活用が進んでいない。							
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	5	点	(内訳)	予算事業	2	点	管理指標	2	点	地域との協働	1	点
	iii	順調			(摘要) 事業の構成は妥当である。		(摘要) 工夫を重ねながら目標達成に近づいているが、空家の活用に関心を持ってほしい。		(摘要) 協働に関する情報周知、共有の強化が必要				